

【 建設工業新聞 令和2年7月15日 】

段ボール製間仕切りを豪雨被災地に

全国道の駅連絡会(石井裕会長)と群馬県建設業協会(群馬建協、青柳剛会長)、全国建設業協同組合連合会(全建協連、同)の3者は14日、避難所などで使用できる段ボール製間仕切り＝写真＝を2020年7月豪雨の被災地に緊急提供すると発表した。感染症に配慮した居住スペースを構築できるのが特徴。

15日から100セットを福岡、熊本、鹿児島県の3県4市町にある7カ所の道の駅に出荷する。

全国道の駅連絡会、群馬建協ら



福岡県大牟田市の道の駅「おおむた」に17セット、熊本県水俣市の「みなまた」に17セット、同県芦北町の「たのうら」「大野温泉」「芦北でこぼん」に計52セット、鹿児島県垂水市の「たるみず」「たるみずはまびら」に計14セットを寄贈する。

間仕切りの名称は「KAMIKABE」。群馬建協が災害対応や感染症対策の経験を生かして製品化した。厚さ3mm、標準ユニットは2.1mの正方形、高さは1.5m。避難所・避難生活学会が推奨する感染症対策に必要なスペースの基準を満たす。